

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： エアロゾルと気候変動を繋ぐその場測定法の開発
2. 研究代表者： 玄 大雄（東京工業大学 理学院化学系 助教）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、エアロゾルの気候影響を解明する「鍵」として、エアロゾルのバルク組成ではなく表面組成に着目し、「表面組成の選択的検出」と「気候影響計測」を可能にするその場測定法を開発し、「エアロゾル-環境-ヒト」を繋ぐ新たな研究分野の開拓を目指す研究である。フェーズ1では、エアロゾルを長時間トラップできる EDB が完成し、屈折率、表面張力、成分の測定を可能にしたことは評価に値する。粒子の気候変動への影響を解明する上での物性、特に表面張力の基礎的な知見の獲得という点で所期の成果を得ている。フェーズ2では、今後のサンプルの解析データとモデル化によるデータの蓄積により、エアロゾルの真の状況を推定に繋がり、気候と関連が明らかになることを期待する。モデル、その他大気観測を専門とする先生方との連携が必須と思われ、今後の研究計画への落とし込みを期待する。

以上